

■ 平成23年度観光入込客数の状況について（特徴）

○平成23年度の観光入込客数は、453万2千2百人（対前年度比7.40%の減）となりました。

・道内・道外客別では、道外客数が113万5千1百人（対前年度比5.08%の減）道内客数が339万7千1百人（対前年度比8.15%の減）、となっており、道内客・道外客共に減少しました。

・日帰り・宿泊別では、日帰り客数が431万9千8百人（対前年度比7.66%の減）、宿泊客数が21万2千4百人（対前年度比1.94%の減）となっており、日帰り客・宿泊客共に減少しました。

・地区別では、市街地地区の観光入込客数が378万3千5百人（対前年度比5.25%減）、支笏湖地区の観光入込客数が、74万8千7百人（対前年度比16.92%減）となりました。

○増減について考察してみると、

・3月11日に発生した東日本大震災や、これに伴う原子力発電所の事故の影響により、国内の旅行を自粛する動きが広がったことに加え、ガソリン価格の高騰やインフルエンザの流行、国際定期便の運休などが入込客数を減少させた要因と考えられます。一方で、上期と下期の入込客数を比較すると、対前年度比9.07%の減（上期）から対前年度比5.21%の減（下期）となっており、回復の兆しが見られ、下げ幅は減少したと考えられます。

	全体	市街地地区	支笏湖地区
平成23年度	4532.2	3783.5	748.7
平成22年度	4894.5	3993.3	901.2
前年度比増減	△362.3	△209.8	△152.5
増減率	△7.40%	△5.25%	△16.92%

単位：千人